

タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学
「第6回 全ウクライナ国際公開シンポジウム 2014
～時代を先取る日本語教育コースデザインの模索～
ウクライナ日本語教師会
「第13回 ウクライナ日本語教育セミナー」
研究発表・参加募集のご案内

タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学では、以下の日程で国際公開シンポジウム(本学主催)、ウクライナ日本語教育セミナー(主催ウクライナ日本語教師会)を開催致します。つきましては、日本語、日本語教育、日本文学等の分野における研究発表を募集致します。発表を希望される方は以下の参加申し込み先へ、応募締切日までにご応募下さい。皆様からのご応募をお待ちしております。

1. 目的

日本研究者養成の第1歩は、紛れもなく日本語の習得にあります。ウクライナの日本語教育には様々な課題があります。中でも、日本語教育の質の向上とともに、高等教育機関における日本語教育と日本研究とをリンクさせ、相乗効果を高める方策も重要になります。優れた日本研究者を輩出するための日本語教育には、どのような方策が必要なのでしょう。今回お招きする招聘講師がご発表下さる日本、イギリスなどヨーロッパ諸国の事例を参考にして、議論を深められれば、ウクライナの日本語教育、日本研究の向上につながるのではないのでしょうか。

また、ウクライナ日本語教育セミナーでは、主にウクライナ日本語教師を対象とし、当国における日本語教育教授レベルのさらなる発展、日本語教育界全体の活性化に資することを目的としています。多くの授業実践報告のご応募をお待ちしています。

このシンポジウム・セミナーの連日共同開催により、研究面及び、教授実践面の両側面を活性化する相乗効果を狙っています。

2. 日程 2014年3月21日(金)・22日(土)

予定日程	
国際公開シンポジウム 3月21日(金) 9:00 開始 17:30 終了(予定) (使用言語) 日本語 ウクライナ語 ロシア語	<午前> 9:00-12:00 (基調講演) 1) 坂本恵(さかもと・めぐみ)教授(東京外国語大学) 『日本語のスタンダードの意義と教育への応用』 2) 穴井宰子(あない・すずこ)教授(英国オックスフォード・ブルックス大学) 『今求められる日本語教育とは?パラダイムシフトの中で』
	<午後> 13:30-17:30 ・各分科会での研究発表 2013年の分科会「日本語学・翻訳」「日本語教授法」「歴史・経済・社会」 「日本文学」(2会場)「文化・宗教・建築」「日本語ジェンダー」
日本語教育セミナー 3月22日(土)	<22日夕に駐ウクライナ日本国大使公邸で前夜祭を開催予定> 1) 穴井教授 ワークショップ『ポートフォリオを使った学習』

9:00 開始	坂本教授 講演『スタンダードを応用した聴解教育』
17:00 終了 (予定)	2) 日本語教育 実践報告・教師研修報告等
(使用言語) 日本語	3) ウクライナ日本語教師会総会 (内容は予定)

※上記は予定です。日本語による発表申し込み多数の場合、シンポ・セミナーとの発表日程調整、分科会増設となる可能性もあります。

3. 場 所 タラス・シェフチェンコ記念 キエフ国立大学 言語学院 校舎 (予定)
 14, Bulvar Tarasa Shevchenka, Kyiv 01017, Ukraine
 電話: (+38-0) 44-239-33-86 FAX: (+38-0) 44-239-31-13
 地下鉄 1 号線(赤)Teatralna 駅、2 号線(青)Ploscha L'va Tolstogo 駅、徒歩 5 分

4. 主な協力機関、後援機関

- ・キエフ国立大学 (シンポジウム主催)
- ・ウクライナ日本語教師会 (日本語教育セミナー主催)
- ・キエフ国立言語大学
- ・ウクライナ国立科学アカデミー・クリムスキー東洋学研究所
- ・ウクライナ国立科学アカデミー・タラス・シェフチェンコ文学研究所
- ・ウクライナ日本センター
- ・在ウクライナ日本国大使館
- ・独立行政法人国際交流基金 (助成)

5. 参加・発表申し込み資格

ウクライナ国内・外を問わず、日本語教育機関関係者、学生 (学部生、大学院生、研究生)。

6. 応募要領

応募者は申込書に記入の上、発表要旨を締め切りまでに、以下記載の連絡先まで E-mail 添付にてお送りください。なお、発表要旨は発表言語 (日本語、ロシア語、ウクライナ語、もしくは英語) に、日本語 (MS 明朝・12pt) もしくは英語よるものを添えて、Word 文書 200 字程度にてお願い致します。

発表要旨の内容:

- (1) 発表題目 (日本語と、英語もしくはウクライナ語か露語)
- (2) 発表者氏名 (同)
- (3) 発表者所属 (同)
- (4) 発表要旨 (日本語にして 200 字程度)

※ **発表申し込みの締め切りは 2014 年 2 月 23 日です。**また、シンポジウム開催後 3 月 31 日〆切で本学発行論文集へ論文を投稿して頂く予定です。書式等の詳細は決まり次第、E-mail にて送信致します。

7. 発表・参加申し込み先

申込フォームに必要事項をご記入のうえ、以下の E-mail アドレスまでお送りください。

8. 旅費 (交通費・宿泊費) 助成

A：ウクライナ国内からの参加者

ウクライナ国内からご参加の皆様には、ウクライナ日本語教師会会員の方、及び発表者（学生も含む）の方のみ、交通費、宿泊先のご提供がございます。

B：ウクライナ国外からの参加者

ベラルーシ、モルドバからの参加者（発表者のみ）は、交通費の一部と宿泊先のご提供、その他の国からの参加者（発表者のみ）には、宿泊先のご提供がございます。

※1 ただし、21・22 両日の参加が条件です。

※2 宿泊先は当学学生寮（来客向け大学ゲストハウス：21 日夜の 1 泊のみ、助成があります。地下鉄 2 号線(青線)で Ploscha L'va Tolstogo 駅から 6 駅目の Vasylkivska 駅近く)を予定しています。宿泊は 1 部屋 2 名が基本です。ご希望の方は、申込書の該当欄にご記入をお願い致します。21 日以外の宿泊は、1 部屋当たり 300UAH (=約 38USD ※変動の場合あり)をお支払いいただきます。

※3 他の宿泊先をご希望の場合は、ご自分でお手配をお願いします。

※4 宿泊可能人数には限りがございますので、満室の場合はお断りする場合があります。ご了承ください。

※5 交通費助成の支払いは、22 日（土）午後に行います。当日お渡しする申請用紙に必要事項をご記入のうえ、列車、バスまたは航空券の往復分の切符か領収書のコピーを添えて提出してください。

※6 昼食は、21 日（金）のみ、当言語学院食堂にてご用意いたします。22 日（土）は食堂が休みですので、各自お取りください。

E-mail アドレス：japanconf@gmail.com

シンポジウム事務局 キエフ国立大学言語学院准教授 コミサロフ・コスチャンティン（代表）

※【発表】申し込み締め切り：2014 年 2 月 23 日

【参加】申し込み締め切り：2014 年 2 月 28 日

皆様のご参加をお待ちしております。

以 上